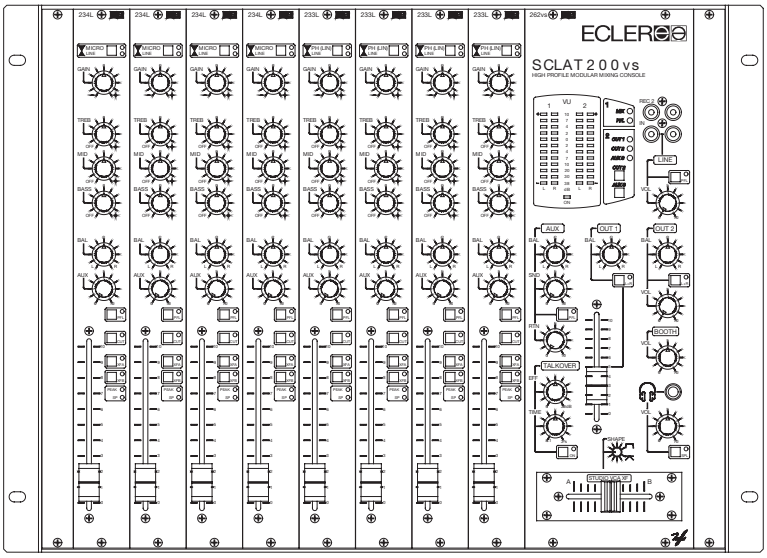
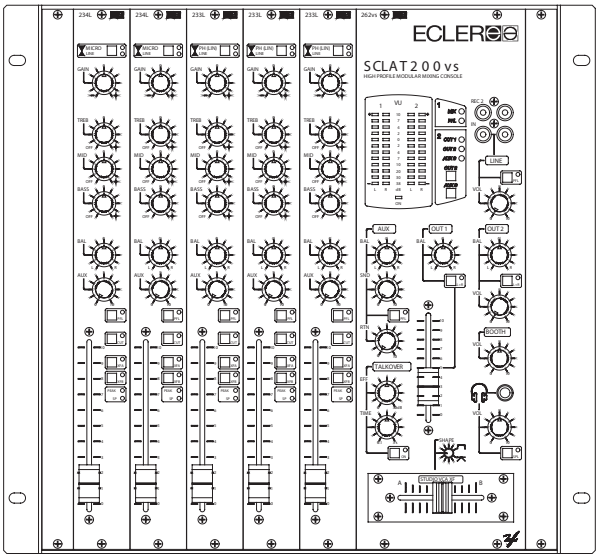


SCLAT 200vs

日本語取扱説明書



ECLER

SCLAT200vs 日本語取扱説明書

1. はじめに

2. SCLATシリーズの歴史

3. FA50 外部電源サプライ
   FA50の注意点

4. インストール
   4-1 設置場所
   4-2 ラックマウント
   4-3 モジュール交換

5. 注意点
   5-1 グラウンドループ
   5-2 外部機器との接続
   5-3 ノイズ
   5-4 クリーニング

6. 233LステレオPHONO/LINEモジュール

7. 234LステレオMICRO/LINEモジュール

8. マスターモジュール
   8-1 OUTPUTS
   8-2 INPUTS
   8-3 その他の特長

9. FA50 外部電源サプライ

10. 233L ステレオPHONO/LINEモジュール

11. 234L ステレオMICRO/LINEモジュール

12. マスターモジュール

1. はじめに

SCLAT200vsをご購入ありがとうございます。
SCLAT200vsの持つパフォーマンスを最大限活かすために、使用前に必ずこのマニュアルをお読みください。メンテナンスが必要なときは当社の認定されたテクニカルサービスをお勧めします。

⚠ このミキサーはメインケーブルでアースされます。必ずアースを接続し、水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所は設置しないでください。火災、感電などの原因となります。

2. SCLATシリーズの歴史

1984年のSCLAT10の発売を皮切りに、1987年にSCLAT8、1994年にSCLAT4とモデルチェンジを重ね、SCLATシリーズは世界中でハイパフォーマンスミキサーとして認められるようになりました。使いやすさとその高音質、また信頼性・耐久性において、SCLATシリーズはECLERをヨーロッパのリーダーとしてその地位を固め、名を知らしめてきました。もちろんSCLAT200vsはDJやオーディオクリエイターがハイエンドミキサーに求める機能、安定性をも兼ね備えています。SCLAT200vsを含め、ECLERはさらなる次のステップを目指し、ハイエンドクラブミキサーに求められるマーケットに挑戦し続けています。

■SCLAT200vsの特徴

・最大8デュアルインプットモジュール
・モジュールデザイン
・19インチラックサイズ（8モジュールタイプのみ）
・2タイプシャーシ　SCLAT200vs/8, 8モジュール…16インプット
　　SCLAT200vs/5, 5モジュール…10インプット
・SMDテクノロジー（Surface Mounting Device）を採用したサーキットボードデザイン
・オペレートに適した15°スラントのコントロールパネル

3. FA50 外部電源サプライ

SCLAT200vsシリーズには、プレーヤーの操作を余すところなくサウンドに反映させるために適切な電圧を送る、オーバーサイズともいえる外部電源サプライ『FA50』を使用しています。消費電力量の変動に対する安定化、電圧変化に対する安定化を図り、また回路をショートから保護します。

■FA50の注意点

FA50はオーバーサイズともいえる大型トランスを備えていますが、周辺機器に対し極まれにノイズの発生や発熱、また磁力による磁界障害を引き起こすことがあります。したがってFA50を設置する場合には、発熱や磁力の影響を受けやすい機器の隣接を避け十分な間隔を取って下さい。

⚠ 万一ヒューズが故障した場合は、コンセントから電源ケーブルを抜いてから、同一のヒューズと取り替えてください。
400mAヒューズより容量の大きいものは使用しないでください。

FA50のパワーサプライはアウトプットにD-SUBタイプソケット（6）を使用しています。電源スイッチ（1）を入れると電源ランプが点灯します。アースリンク又はグラウンドループスイッチ（4）は複数の装置が同時に接続されたときにグラウンドループを避けます。このスイッチはメカニカルアースからの回路のアースが絶縁されます。グラウンドループが起こった場合、これらのスイッチを使うか、アースリンクスイッチを使ってください。

4. インストール

■4-1 設置場所

設置場所はオペレートがしやすく、ケーブルの接続がしやすい場所に設置することをお勧めします。ハイゲイン機器や電源ケーブル等、ノイズの原因となるものからミキサーをできるだけ遠ざけて設置してください。またメンテナンス時以外はミキサーのカバーを絶対にはずさないようにしてください。

■4-2 ラックマウント

ラックマウントをする場合、ミキサーの破損を防ぐために付属のプラスチックメタルワッシャーを使用してください。また指を挟まないようご注意下さい。

■4-3 モジュール交換

モジュールの追加、モジュール位置の変更は次の手順で行ってください。

1.電源を切る
2.リアパネルの 3 箇所のネジをはずす
3.フロントパネル、バックパネルのネジをはずす
4.GAINとAUXのノブを持ちモジュールを持ち上げる
5.マルチバスコネクターをはずす
6.バスコネクターを新しいモジュールにつける
7.新しいモジュールを本体フレームに戻し、3本のネジで留める
8.モジュールがしっかり固定されているか確認しネジをしめる

5. 注意点

■5-1 グラウンドループ

グラウンドループを避けるにはターンテーブルとミキサーのアースの接続を確実にしてください。アース接続時には、必ず電源をお切りください。

■5-2 外部機器との接続

高音質を得るには、ケーブル類はなるべく短いものを使用し、コネクター・ケーブルは高品質なものの使用を強くお勧めします。ケーブルとコネクターは音質に直接影響します。また各機器の接続を間違えないように注意してください。

■5-3 ノイズ

SCLAT200vsはノイズ発生を最小限に抑えるよう設計されています。しかしノイズレベルは接続方法や設置場所により変化することがあります。

◎ノイズ改善のアドバイス

フェーダーレベルを2、マスターレベルを10に設定すると、ノイズ比が悪くなりアンプのマスターもフルにせざるを得ません。フェーダーレベルを10、マスターレベルを2にするとアンプのノイズ比は良くなり、アンプのレベルは2前後ですみ、バックグランドノイズが発生しにくくなります。

■5-4 クリーニング

ミキサーのクリーニングには、やわらかい布にごく少量の水か中性洗剤をつけて軽く拭いてください。液体洗剤、研磨剤を使用しないでください。ミキサーの中に水分が入らないように十分注意してください。

6. 233L ステレオPHONO/LINE モジュール

233LモジュールはPHONOシグナルレベルが1.77～56.2mVの範囲と、LINEレベルが0.100～10Vの範囲のステレオ入力が可能です。入力ソースはRCAコネクターに接続し、PHONO／LINE切換えスイッチで選択できます。PHONO入力の場合はトップパネルのライト表示が緑色、LINE入力の場合は黄色になるよう切り替えスイッチで選択します。PHONO入力の最小値は10mV（-40dB）で、1.77mVから56.2mVの容量のPHONOカートリッジを持つターンテーブルを接続できます。このインプットには最大許容量がありますが、それ以上のカートリッジも接続できます。PHONO入力（23）はPHONO／LINE切換えスイッチ（25）がバックパネルにあります。PHONO／LINEスイッチをLINEに選択すると、低いオーディオソースレベルの接続も可能です（工場出荷時の設定はPHONO）。LINE入力は入力感度切換えスイッチ（Hi／Lo）（21）で-5dBV～+5dBVの選択が可能です。Hi／LoスイッチをHiにした場合はCD、DAT、MDプレーヤーの接続に適しています。Loを選択した場合はカセット、レコードプレーヤー、ラジオなどの接続に適しています（各モジュールの工場出荷の設定はLo）。

■GAIN（4） ゲイン調整

GAINつまみはフロントパネル上にあります。GAINは±15dBの範囲で調節できます。すでに流れている音楽や他のチャンネルとのサウンドレベルの調節に使用します。入力GAINはVU-METERまたはヘッドフォンで確認できます。（各チャンネルのPFLボタンを使用してVUメーターで両方の信号を比較できます。）それぞれのモジュールは内部ジャンパー（P12-fig.1参照）を装備しており、±15dBまたは±5dBの範囲で調節できます。※より細やかなGAIN調節をおこなえるようこのシステムを採用しておりますが、ジャンパーによるGAIN調節幅の設定変更はお客様の自己責任で行って下さい。ジャンパーの設定変更による故障は保証対象外となります。

■TREB（5） MID（6） BASS（7） 3バンドイコライザー

3バンドイコライザーはTREB、BASSが-30dB～+10dBの範囲で、MIDが-25dB～+10dBの範囲で調節できます。モジュールには、内部ジャンパーを装備しており（P12-fig.1参照）GAINの限界を+10dB～+6dBの間で調節できます。

※よりシビアなEQ設定をおこなうため、また過度のEQブーストによる周辺機器の故障を防ぐため、このシステムを採用しておりますが、ジャンパーによるEQ可変幅の設定変更はお客様の自己責任で行って下さい。ジャンパーの設定変更による故障は保証対象外となります。

■BAL（8） バランスコントロール

BALつまみで入力信号の左右のバランスを調節できます。

■AUX（9） AUX

SCLAT200vsのモジュールにはAUXセンドを装備しております。工場出荷時はポストフェーダーに設定されています。つまりチャンネルフェーダー（16）の位置はAUX SNDバスに送られた信号のレベルに影響します。また内部ジャンパーの設定を変更することでAUXセンドをプリフェーダーに変更することもできます。 ※ジャンパーによるポストフェーダー／プリフェーダーの設定変更はお客様の自己責任で行って下さい。ジャンパーの設定変更による故障は保証対象外となります。

■PFL（17） プリフェーダー・リスニングボタン

PFLボタンを押したチャンネルの入力信号がVUメーター1に反映されます。

■CUT（18） カットスイッチ

CUTボタンを押すとそのモジュールの信号がミュート（消音）されます。通常最初にセッティングする時はCUTボタンを押し（過度のボリュームによる周辺システム破損を避けるため）、VUメーターかヘッドフォンで入力GAINの調節をします。その後CUTボタンを押しミュートを解除し、セッティングを進めてください。またミキサーのSN比を最大限活かすには、使用していないチャンネルをミュートすることをお勧めします。チャンネルがミュートされているときはランプがつきます。

■XFA（19） XFB（20） クロスフェーダーアサインボタン

CUTスイッチの下の2つのボタン（XFA,XFB）でそのチャンネルのソースをクロスフェーダーA（XFA:左側）またはクロスフェーダーB（XFB:右側）のどちらかにアサインできます。アサインされているチャンネルはランプで表示します。アサインされていないとき、ソースは直接メインミックスバスに送られます。XFA・XFBどちらかのアサインボタンを押した場合のみマスターモジュールのクロスフェーダーにアサインされます。

■チャンネルフェーダー（16）

SCLAT200vsはハイクオリティープロフェッショナルフェーダーを使用しています。

■PEAK（14） and SP（15） ピーク&シグナルインジケーター

ピークインジケーターは信号がクリップポイントに近づいたら点灯します。点灯しても実際の信号はクリップポイントに達していませんが、点灯し続けないようにGAINを調節して下さい。ピークの入力レベルは+10dB以上で表示されます。ピーク表示は、散発的な重低音やシャウトなどによりライトが点灯することがあります。その場合表示ライトは光り続けます。シグナルインジケーターは、ゲインコントロール前でのインプット信号で表示されます。スレッショルドは-40dBに設定されています。-40dBを越えた信号が入力されたらVUメーターが点灯しはじめます。

7. 234L ステレオ MICRO/LINE モジュール

234Lモジュールはバランスマイクロホンの-50dBV(3.16mV)の信号を接続するためのモジュールです。レベルは0.56～1.77mVの範囲で接続可能です。またLINE入力（0.100～10V）は233LステレオPHONO/LINEモジュールのLINE入力と同じです。
マイク／ラインの2つのインプットそれぞれ機器を接続しMICRO/LINEボタンで切り替えます。マイク入力を選択すると緑のランプ、ライン入力を選択すると黄色のランプがつきます。マイク入力のコネクターはXLR-3、バランスタイプです。ピン配列は以下の通りです。
Hot or direct signal→pin2 / Cold or inverted signal→pin3 / Ground→pin1
マイクはローインピーダンス（200～600Ω）のものを使用して下さい。バランス以外のマイクはPin3でアースされます。マイク入力感度切替スイッチ（Hi/Lo）（25）はマイク入力(24)横にあり、+20dBのゲインの調節が簡単にできます。各モジュールの工場出荷設定はLoです。
LINE入力は入力感度切換えスイッチ（Hi／Lo）（21）で-5dBV～+5dBVの選択が可能です。Hi／LoスイッチをHiにした場合はCD、DAT、MDプレーヤーの接続に適しています。Loを選択した場合はカセット、レコードプレーヤー、ラジオなどの接続に適しています。各モジュールの工場出荷の設定はHiです。

■ファンタム電源（23）

このモジュールはファンタムスイッチを装備しています。ファンタムスイッチはリアコネクションパネルにあります。工場出荷の設定はOFFです。

■GAIN（4）調整

GAINつまみはフロントパネル上にあります。GAINは±15dBの範囲で調節できます。すでに流れている音楽や他のチャンネルとのサウンドレベルの調節に使用します。入力GAINはVU-METERまたはヘッドフォンで確認できます。（各チャンネルのPFLボタンを使用してVUメーターで両方の信号を比較できます。）それぞれのモジュールは内部ジャンパー（P12-fig.2参照）を装備しており、±15dBまたは±5dBの範囲で調節できます。※より細やかなGAIN調節をおこなえるようこのシステムを採用しておりますが、ジャンパーによるGAIN調節幅の設定変更はお客様の自己責任で行って下さい。ジャンパーの設定変更による故障は保証対象外となります。

■TREB(5) MID（6） BASS（7）3バンドイコライザー

3バンドイコライザーはTREB、BASSが-30dB～+10dBの範囲で、MIDが-25dB～+10dBの範囲で調節できます。モジュールには、内部ジャンパーを装備しており（P12-fig.2参照）GAINの限界を+10dB～+6dBの間で調節できます。※よりシビアなEQ設定をおこなうため、また過度のEQブーストによる周辺機器の故障を防ぐため、このシステムを採用しておりますが、ジャンパーに　よるEQ可変幅の設定変更はお客様の自己責任で行って下さい。ジャンパーの設定変更による故障は保証対象外となります。

■BAL（8） バランスコントロール

BALつまみで入力信号の左右のバランスを調節できます。

■AUX（9） AUX

SCLAT200vsのモジュールにはAUXセンドを装備しております。工場出荷時はポストフェーダーに設定されています。つまりチャンネルフェーダー（16）の位置はAUX　SNDバスに送られた信号のレベルに影響します。また内部ジャンパーの設定を変更することでAUXセンドをプリフェーダーに変更することもできます。※ジャンパーによるポストフェーダー／プリフェーダーの設定変更はお客様の自己責任で行って下さい。ジャンパーの設定変更による故障は保証対象外となります。

■PFL（17） プリフェーダー・リスニングボタン

PFLボタンを押したチャンネルの入力信号がVUメーター1に反映されます。

■チャンネルフェーダー（16）

SCLAT200vsはハイクオリティープロフェッショナルフェーダーを使用しています。

■CUT（18） カットスイッチ

CUTボタンを押すとそのモジュールの信号がミュート（消音）されます。通常最初にセッティングする時はCUTボタンを押し（過度のボリュームによる周辺システム破損を避けるため）、VUメーターかヘッドフォンで入力GAINの調節をします。その後CUTボタンを押しミュートを解除し、セッティングを進めてください。またミキサーのSN比を最大限活かすには、使用していないチャンネルをミュートすることをお勧めします。チャンネルがミュートされているときはランプがつきます。

■XFA（19） XFB（20） クロスフェーダーアサインボタン

CUTスイッチの下の2つのボタン（XFA,XFB）でそのチャンネルのソースをクロスフェーダーA（XFA:左側）またはクロスフェーダーB（XFB:右側）のどちらかにアサインできます。アサインされているチャンネルはランプで表示します。アサインされていないとき、ソースは直接メインミックスバスに送られます。XFA・XFBどちらかのアサインボタンを押した場合のみマスターモジュールのクロスフェーダーにアサインされます。

■PEAK（14） and SP（15） ピーク&シグナルインジケーター

ピークインジケーターは信号がクリップポイントに近づいたら点灯します。点灯しても実際の信号はクリップポイントに達していませんが、点灯し続けないようにGAINを調節して下さい。ピークの入力レベルは+10dB以上で表示されます。ピーク表示は、散発的な重低音やシャウトなどによりライトが点灯することがあります。その場合表示ライトは光り続けます。

シグナルインジケーターは、ゲインコントロール前でのインプット信号で表示されます。スレッショルドは-40dBに設定されています。-40dBを越えた信号が入力されたらVUメーターが点灯しはじめます。

8. マスターモジュール

8-1 OUTPUTS

OUT1（43-47）, OUT2（39-40）

OUT1とOUT2はXLRバランスタイプのステレオ出力です。コネクターはXLRコネクターで、接続構造は下記の通りです。

Hot or direct signal→pin2 / Cold or inverted signal→pin3 / Ground→pin1

OUT1またはOUT2でアンバランス機器を使用するときは、アースをとるためにpin3とpin1を接続する必要があります。そうでなければ、出力信号は必要なレベル、音質を得ることはできません。

OUT1／OUT2はそれぞれ独立して調節できます。OUT1はスライドフェーダー（34）、OUT2はつまみ（31）で調節します。また各出力は左右のバランスコントロール（9と28）と、L+Rボタン（26と30）を備えています。これは、例えば万が一片側の音が断たれたチャンネルがある時にこのボタンを押すと、両方のスピーカーにL+Rシグナルが送られるようになります。この間トラブルはほとんどの観客に気付かれることはありません。SCLAT200vsの出力レベルは、工場出荷時は0dB（1V）に設定されています。内部ジャンパーで±6dBV（2V）に変更できます（P13-fig.3、4参照）。※よりシビアな出力レベル設定をおこなうため、また過度のEQブーストによる周辺機器の故障を防ぐため、このシステムを採用しておりますが、ジャンパーによる出力レベルの設定変更はお客様の自己責任で行って下さい。ジャンパーの設定変更による故障は保証対象外となります。）

■BOOTH Output（42） ブース出力

これはOUT1/2の同一情報をDJブースでモニタリングするのに適しています。DJはダンスフロアに流れる音を確認することができる、完全にプリリスニングシステムから独立したブース専用のレベルコントロールです。最小出力レベルは0dBです。

■REC1（48）, REC2（41）, REC2（21） レコーディング出力

すべてのREC出力はRCAコネクターを使用します。REC1/2はバックコネクションパネルにあり、REC2出力はフロントパネル上にも配置されています。REC1出力はプログラムミックスを送り、REC2出力はトークオーバーにアサインされたマイク以外のプログラムミックスを送ります（REC2出力はどちらか一つを使用してください）。3つの最小出力レベルは0dB(1V)です。

■AUX SND （45） AUXセンド出力

バックパネルにあるAUX SND出力はRCAコネクターを使用します。AUXレベルを各チャンネル（モジュール）へ送る役割をします。この出力はSND（11）音量とバランスBAL（10）で調節します。最小レベルは0dB（1V）です。この出力は離れた場所でのモニタースピーカー用またはエフェクター（エコーやリバーブ）類の接続に使用します。

8-2 INPUTS

■AUX RTN（46） AUXリターン入力

AUX　RTN端子はバックパネルにあります。この入力は外部エフェクターの出力をミキサーのメインミックスの後へ戻す入力です。AUXILIARY入力としても使用でき、ここに接続した機器のボリューム調節も可能で、モニタリングするためのプリリスニングボタンも装備しています。

■MIX（49） MIX入力

レベル調整の必要のない機器を接続し、メインミックスバスへと送ることができます。複数の機材を接続するときはバックパネルのインプットを使用することをお勧めします。

■LINE AUX（22） LINE AUX入力

コントロールパネル上にあり±5dBVのAUX入力です。特にCDプレーヤー、DAT、MDプレーヤーやMP3などの高いオーディオレベルの接続に適しています。この入力に接続した機器は専用のボリュームコントロール（25）とPFLスイッチ（24）で調節できます。

8-3 その他の特長

■CROSSFADER（38） クロスフェーダー

クロスフェーダーはXFA/XFBボタンによりチャンネルのクロスフェードをスムーズに変更できます。クロスフェーダーは交換が可能です。交換方法は下記の通りです。

1. クロスフェーダー両側の2つのネジをはずす
2. クロスフェーダーをマウンティングホールからはずす
3. クロスフェーダーのケーブルをはずし新しいクロスフェーダーを接続する
4. 新しいクロスフェーダーをミキサーに取り付けネジをしめる

クロスフェーダーはSHAPEノブでクロスフェードカーブの調節ができます。スムーズなソフトシェイプ、スクラッチ向けのシャープシェイプの調節が可能です。

■TALKOVER（15-16-17-18） トークオーバー

この装置は,モジュールのスイッチを入れると自動的に音楽信号が下がります。下がる音量の範囲はEFF（15）経由で0～30dBの間で調節できます。最後に声の信号がミキサー入ってから音楽信号が元のレベルに戻る時間は0.1～3秒の間で調節できます。MASTERモジュールに最も近いMIC/LINEモジュールに接続したマイクにトークオーバー機能が優先されます。他のモジュールでトークオーバー機能を設定するには、MICRO/LINEモジュールの内部ジャンパーをMUSICバスセッティングからMICROバスセッティングに変える必要があります。（P12-fig.2参照）

※ジャンパーによるトークオーバーの設定変更はお客様の自己責任で行って下さい。ジャンパーの設定変更による故障は保証対象外となります。

■VISUAL AND AUDIO MONITORING ビジュアルアンドオーディオモニタリング

このビジュアルオーディオモニタリングシステムは2つのVUメーターからなります。

VUメーター1（1）はPFLボタンが押されているときを除いて、常にメインミックス信号が表示されます。PFLスイッチを押したチャンネル信号のレベル、また各チャンネルのPFLを押していない場合は全チャンネルのPFL信号が表示されます。2つのLED表示はメインミックス信号のVU1かPFLシグナルのどちらかが表示されます。

VUメーター2（2） はアウトプットシグナルに属し、右側のグループのボタンに関係します。OUT2(6)とAUX　S（7）ボタンがどちらとも押されていない場合VU2はOUT1のレベルが表示されます。どちらか1つのボタンが押されている時、選択された出力信号が表示されます。3つのLEDのグループはどの出力信号が現在モニターされているか示します。両方のボタンが押されている時、OUT2はモニターできます。またPEAK　HOLD機能で最大信号レベルをみることができます。VUメーター下の緑のLEDはミキサーに正常な電圧が送られているかをみることができます。

■Audio Monitoring オーディオモニタリング

SCLAT200vsのヘッドフォン・モニタリングシステムは高出力・高音質が特徴で、プログラムシグナル（メインミックス）とPFLまたこれらと同時にSPLIT（片側からメイン、もう片側からPFLをモニター可能）機能もついています。

スイッチ状況	ヘッドフォンにモニターできる信号
SPLスイッチとPFLがOFFの時 ……	メインプログラムとメインミックス信号
PFLスイッチがONの時 ……	PFLを押したチャンネルの信号
SPLスイッチがONの時 ……	左側からメイン信号、右側からPFL信号

■Headphones（33）Output ヘッドフォン出力

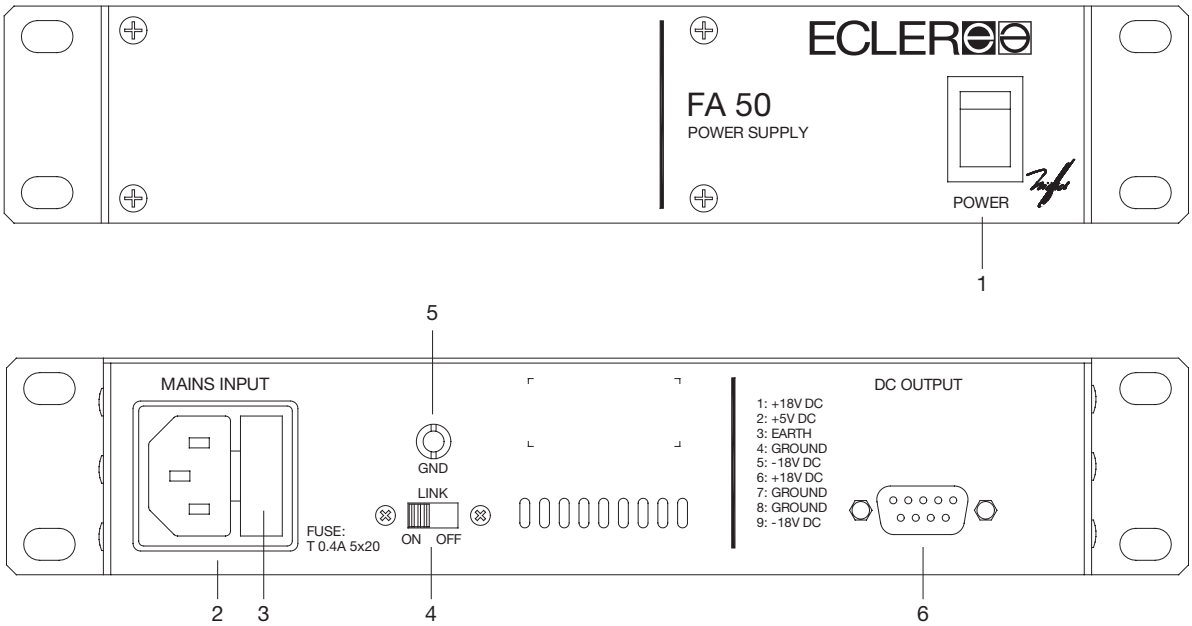
ヘッドフォンのインピーダンスは200～600Ωのハイインピーダンスのものを使用して下さい。ヘッドフォンは1/4インチの標準ステレオ・ジャックで接続します。

■MUSIC MUTE（44）

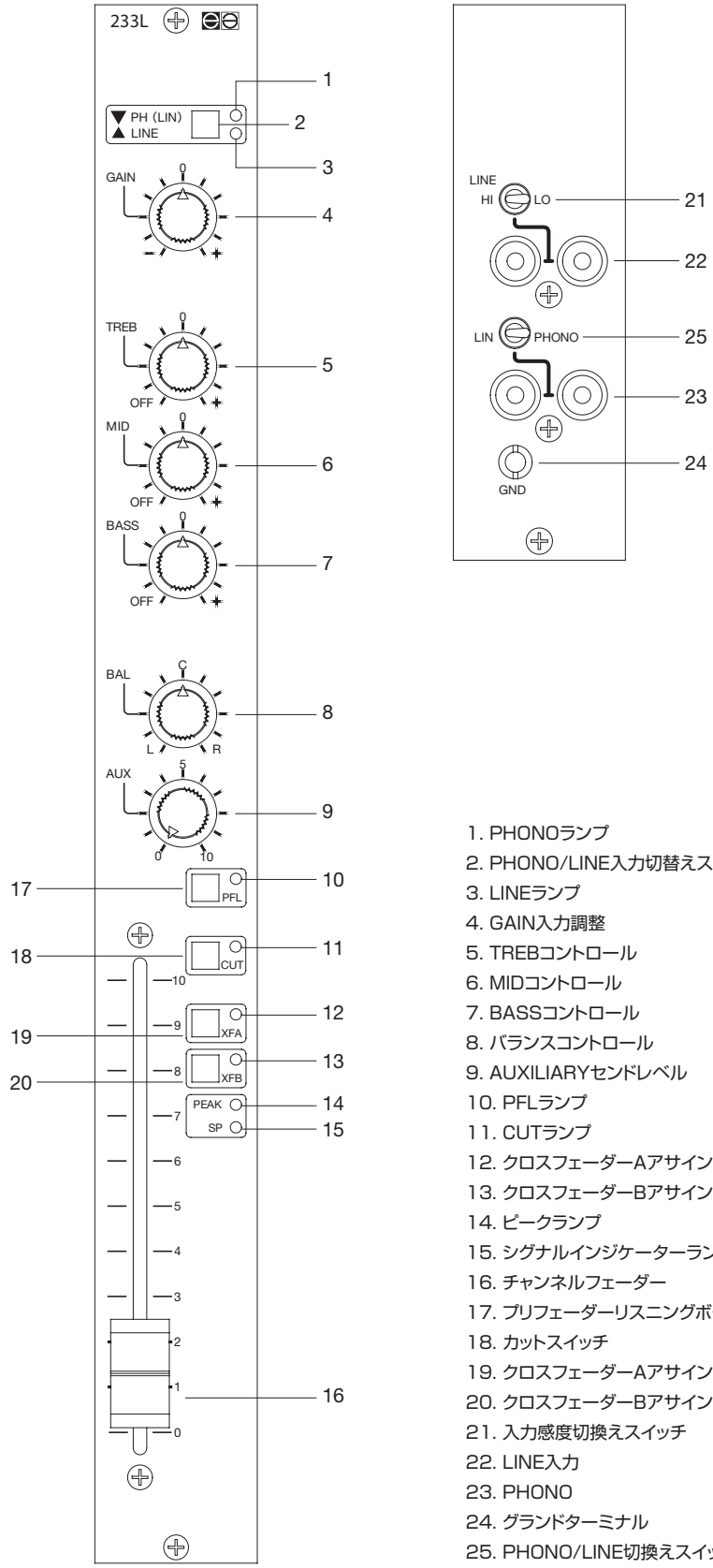
サウンドシステム内の各セキュリティシステムを制御する装置です。後部パネルのミニジャックは、外部スイッチなどを接続し、スイッチをオンにするとトークオーバーのマイク以外の全ての信号をオールミュート（全消音）します。緊急時の場内アナウンス用に使用します。

9. FA50 外部電源サプライ

1. 電源スイッチ
2. 電源入力
3. ヒューズホルダー
4. グランドループスイッチ
5. グランドターミナル
6. D-SUBタイプソケット

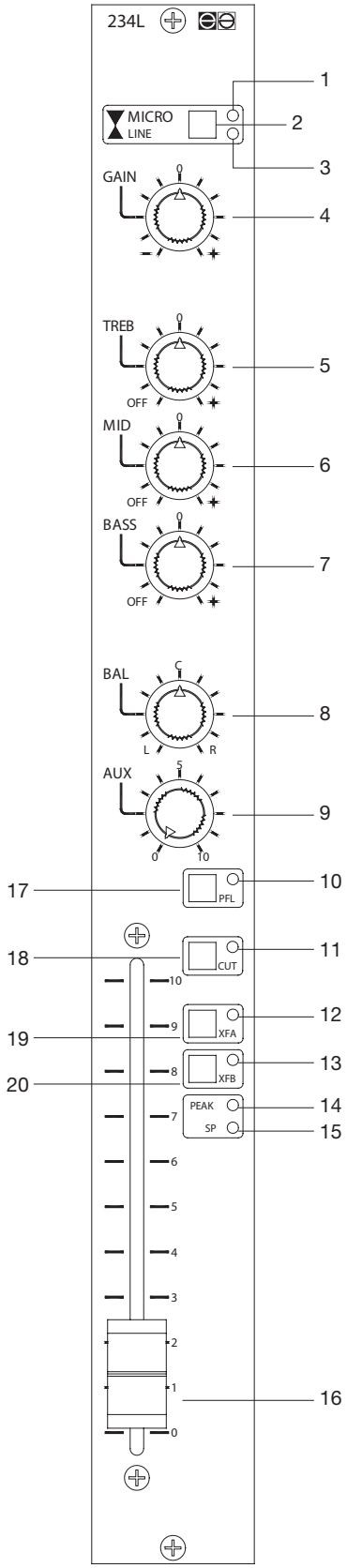


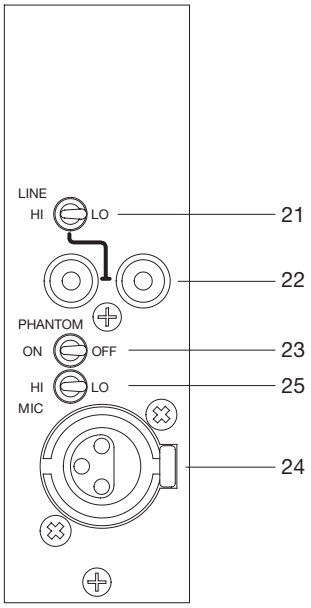
10. 233L ステレオPHONO/LINEモジュール



1. PHONOランプ
2. PHONO/LINE入力切替えスイッチ
3. LINEランプ
4. GAIN入力調整
5. TREBコントロール
6. MIDコントロール
7. BASSコントロール
8. バランスコントロール
9. AUXILIARYセンドレベル
10. PFLランプ
11. CUTランプ
12. クロスフェーダーAアサインランプ
13. クロスフェーダーBアサインランプ
14. ピークランプ
15. シグナルインジケーターランプ
16. チャンネルフェーダー
17. プリフェーダーリスニングボタン
18. カットスイッチ
19. クロスフェーダーAアサインボタン
20. クロスフェーダーBアサインボタン
21. 入力感度切換えスイッチ
22. LINE入力
23. PHONO
24. グランドターミナル
25. PHONO/LINE切換えスイッチ

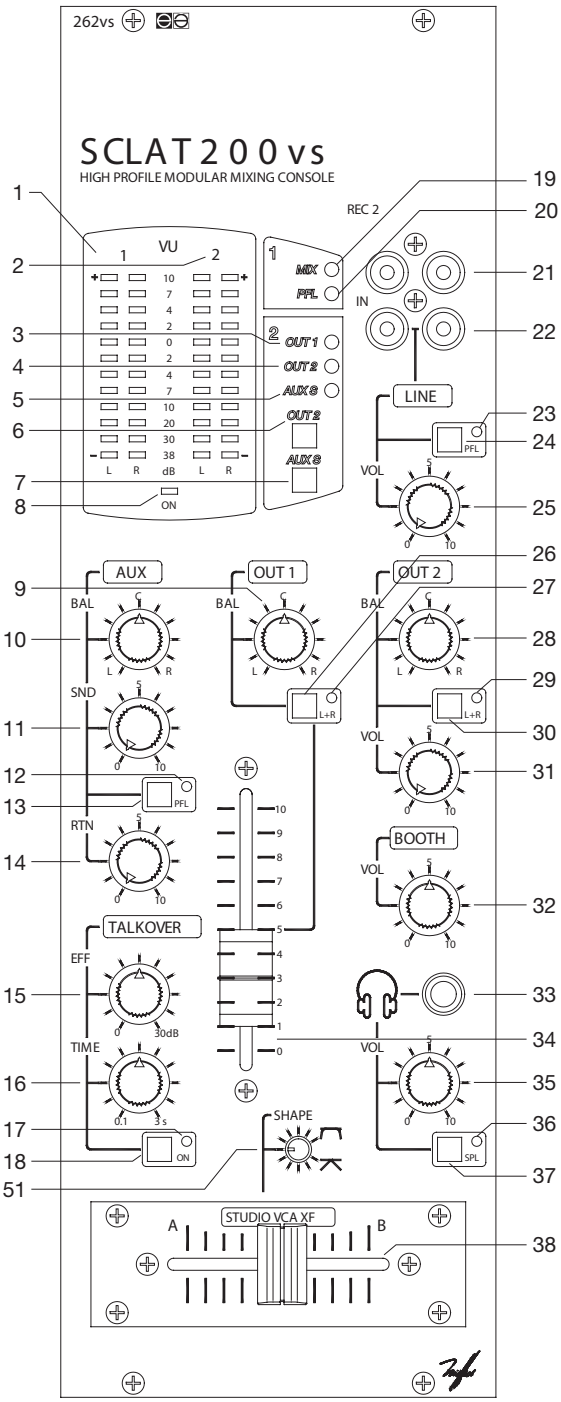
11. 234LステレオMICRO/LINEモジュール

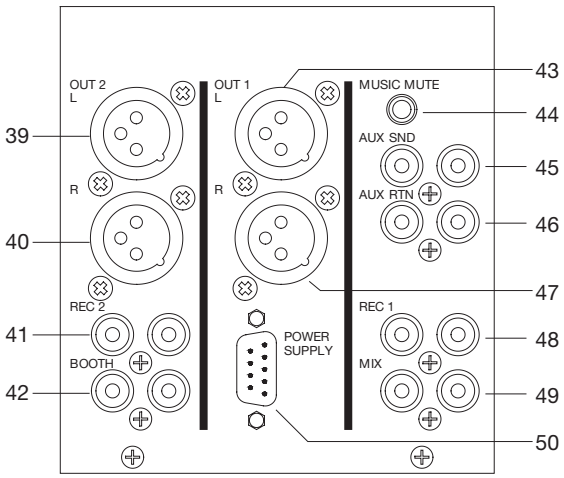




1. MICROランプ
2. MICRO/LINE切替えスイッチ
3. LINEランプ
4. GAIN入力調整
5. TREBコントロール
6. MIDコントロール
7. BASSコントロール
8. バランスコントロール
9. AUXILIARYセンドレベル
10. PFLランプ
11. CUTランプ
12. クロスフェーダーAアサインランプ
13. クロスフェーダーBアサインランプ
14. ピークランプ
15. シグナルインジケーターランプ
16. チャンネルフェーダー
17. プリフェーダーリスニングボタン
18. カットスイッチ
19. クロスフェーダーAアサインボタン
20. クロスフェーダーBアサインボタン
21. 入力感度切換えスイッチ
22. LINE入力
23. ファンタムスイッチ
24. マイク入力
25. マイク入力感度切換えスイッチ

12. マスターモジュール





1. VUメーター1
2. VUメーター2
3. OUT1ランプ
4. OUT2ランプ
5. AUXILIARYセンドランプ
6. OUT2切換えボタン
7. AUXセンド切換えボタン
8. パワーランプ
9. OUT1バランスコントロール
10. AUXILIARYバランスコントロール
11. AUXILIARYセンドレベル
12. PFLランプ
13. PFLスイッチ
14. AUXILIARYリターンレベル
15. トークオーバーダンピングコントロール
16. トークオーバーリカバリータイム
17. トークオーバーランプ
18. トークオーバースイッチ
19. メインミックスランプ
20. PFLランプ
21. レコーディング出力
22. LINE AUXILIARY入力
23. PFLランプ
24. PFLスイッチ
25. LINEボリュームコントロール
26. OUT1 MONO/STEREOスイッチ
27. OUT1 L+Rランプ
28. OUT2 バランスコントロール
29. OUT2 L+Rランプ
30. OUT2 MONO/STEREOスイッチ
31. OUT2ボリュームコントロール
32. BOOTH出力ボリュームコントロール
33. ヘッドフォン入力
34. OUT1スライドフェーダー
35. ヘッドフォンボリュームコントロール
36. SPLITランプ
37. SPLITスイッチ
38. クロスフェーダー
39. OUT2 Lチャンネルバランス出力
40. OUT2 Rチャンネルバランス出力
41. レコーディング出力、REC2
42. BOOTH 出力
43. OUT1 Lチャンネルバランス出力
44. MUSIC MUTEジャック
45. AUXILIARYセンド出力、AUX SND
46. AUXILIARYリターン入力
47. OUT1 Rチャンネルバランス出力
48. レコーディング出力
49. MIX入力
50. パワーサプライ入力
51. クロスフェードカーブアジャスター

Fig.1

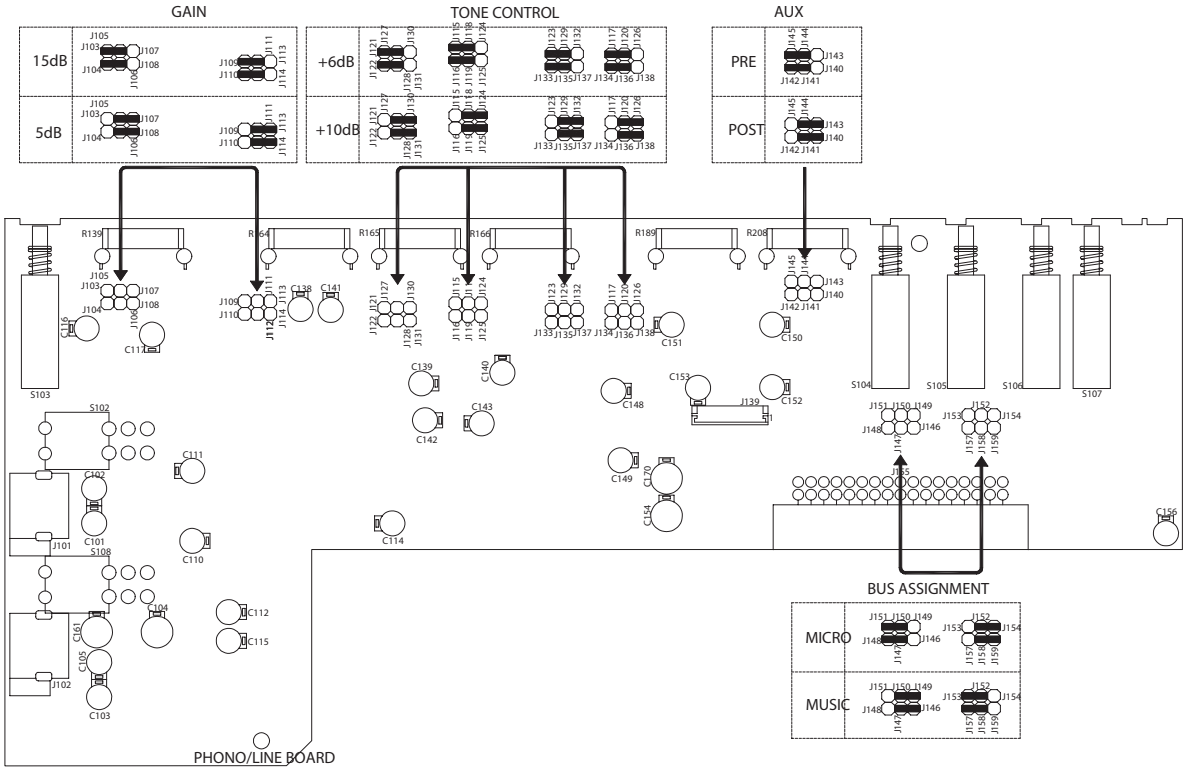

GAIN
TONE CONTROL
AUX
15dB
5dB
+6dB
+10dB
PRE
POST
BUS ASSIGNMENT
MICRO
MUSIC
PHONO/LINE BOARD

Fig.2

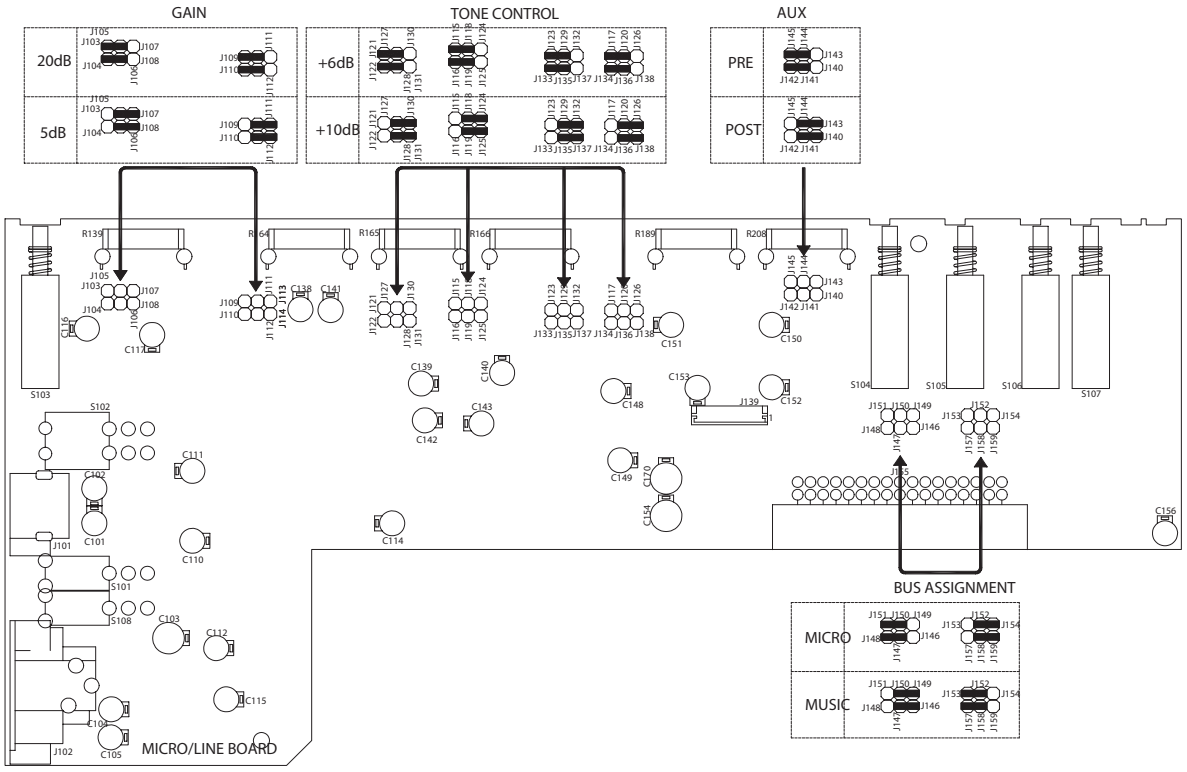

GAIN
TONE CONTROL
AUX
20dB
5dB
+6dB
+10dB
PRE
POST
BUS ASSIGNMENT
MICRO
MUSIC
MICRO/LINE BOARD

Fig.3

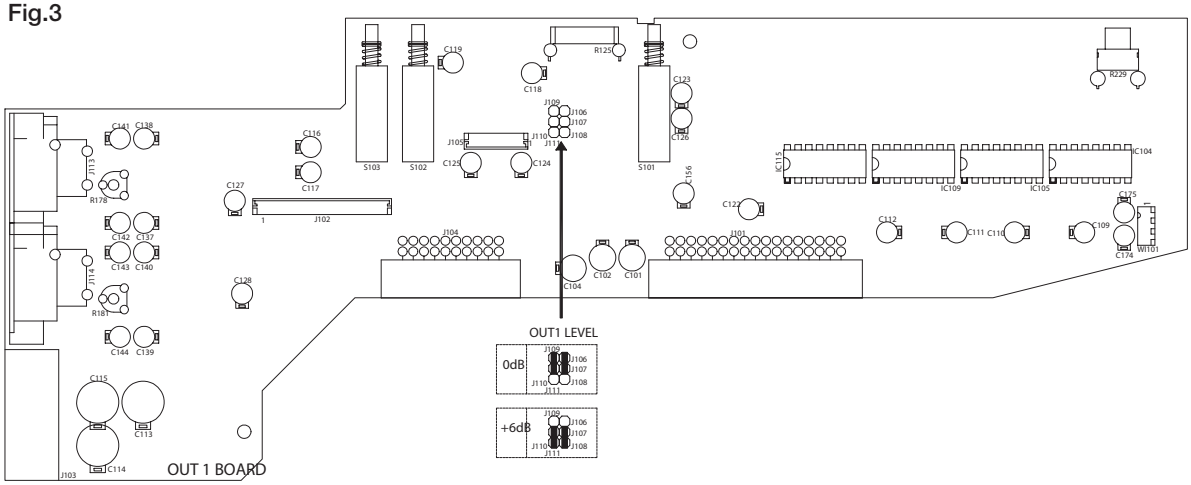
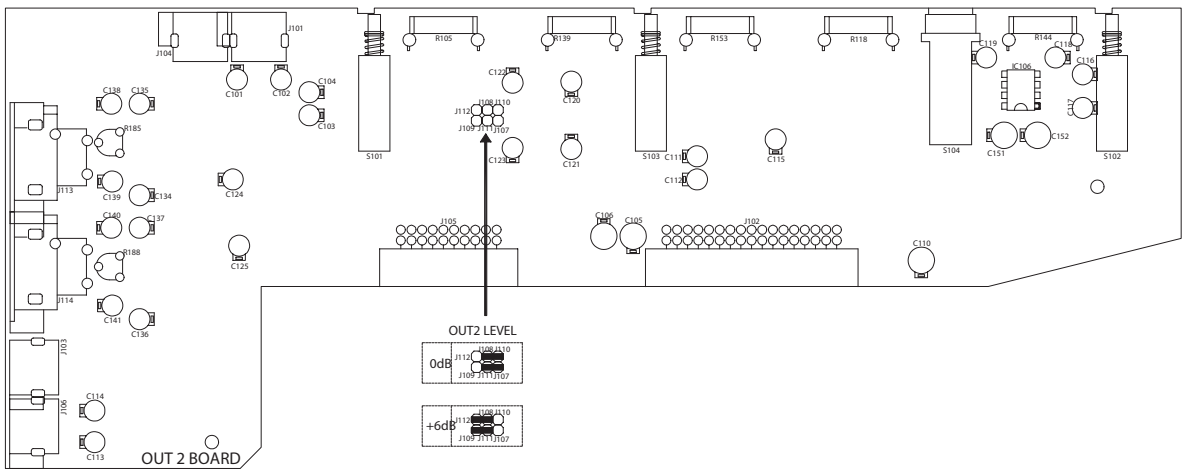


Fig.4



SCLAT 200vs 製品仕様

入力感度インピーダンス	PHONO	Phono/Line モジュール	-40dBV/50kΩ//100pF
	LINE		-5dBV/50kΩ
			Low -5dBV/50kΩ
			High +5dBV/ >25Ω
	MICRO（BAL）	Mic/Lineモジュール	Low -50dBV/>1kΩ
			High -30dBV/>1kΩ
			Low -5dBV/50kΩ
			High +5dBV/25kΩ
	MIX	マスターモジュール	0dBV/>8kΩ
	AUX RTN		0dBV/50kΩ
	FRONT LINE		+5dBV/50kΩ
出力レベル	OUT1	0（+6）*dBV 600Ω 1（2）V	
	OUT2	0（+6）*dBV 600Ω 1（2）V	
	REC	1	0dBV/10kΩ
		2	0dBV/10kΩ
	AUX SEND	0dBV/2.2kΩ	
	BOOTH	0dBV/2.2kΩ	
	HEADPHONES	230mW/400Ω	
最大入力レベル	PHONO	-25dBV	
	LINE	Low +10dBV/High +20dBV	
	MICRO	Low -35dBV/High -15dBV	
周波数特性	PHONO	RIAA±0.5dB	
	LINE	10Hz÷70kHz-1dB	
	MICRO	15Hz÷50kHz-1dB	
総合比率	PHONO	<0.04%	
	LINE	<0.03%	
	MICRO	<0.05%	
最小感度	MICRO	>70dB@1kHz	
SN比	PHONO	>95dBV	
	LINE / CD	>95dBV	
	MICRO	>80dBV	
トーンコントロール	BASS	-30/+10dB（+6dB）*	
	MID	-25/+10dB（+6dB）*	
	TREBBLE	-30/+10dB（+6dB）*	
ゲインコントロール	GAIN	±15dB（±5dB）*	
ファンタム電源		+18V/5mA	
アイソレーターカット周波数	基準	@-6dB	
	LOW	200Hz	
	MID	6.5kHz & 200Hz	
	HIGH	6.5kHz	
アイソレータースロープ		12dB/oct	
寸法及び重量		8モジュール	482×355×142mm 8.15kg
		5モジュール	373×355×142mm 6.35kg
電源入力及び消費電力		AC100V/52W	

※内部ジャンパにて変更可能

ECLER製品正規ディストリビューター

SOUND FARM 有限会社 サウンドファーム

〒700-0976岡山市辰巳421-1-301

TEL 086-242-5105 FAX 086-242-5106

http://www.soundfarm.co.jp

製品仕様は2003年12月現在のものです。改善のため予告なく変更することがあります。